

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No. 2 * *

— 島牧における初漁の漁獲物を測定 —

中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

2010年4月27日に島牧海域において初漁があり、その漁獲物から採集いただいた標本の測定を行いましたので、結果をお知らせします。関係者の皆様、調査にご協力ありがとうございました。

成長が遅く、3群目は適正サイズ手前。4群目の発生も確認。

上の図が、前報 (No.1) でお知らせしました4月17日の島牧沖漁期前調査で採集された標本の体長組成で、下の図が、今回、4月27日の島牧の初漁で漁獲されたコウナゴの体長組成です。漁獲物体長組成は、漁期前調査(前報)と同様に、大きくみて3個のふ化群で構成されていました。いずれのふ化群も、4月17日から4月27日の10日間で4mm程度の成長量であり、これは例年に比べ遅いようです。そのため、3群目の平均体長は27日時点で20mm前後と、適正サイズ(22

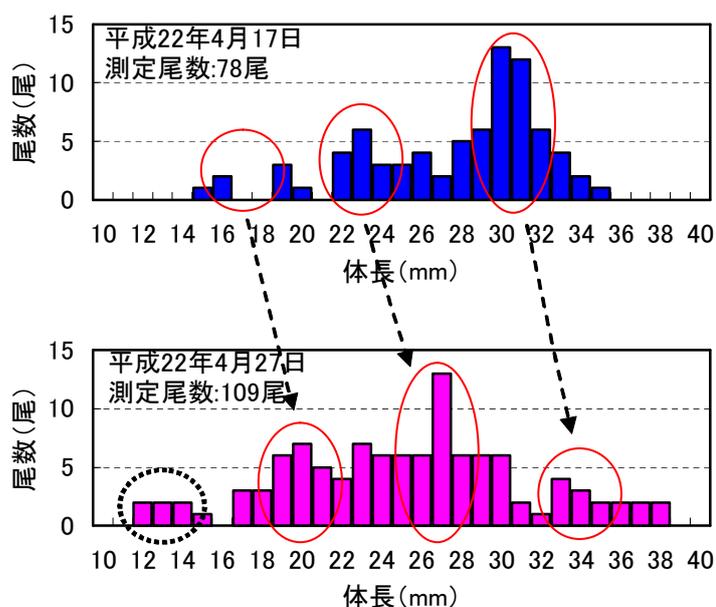


図 コウナゴの体長組成

上図：4/17（漁期前調査） 下図：4/27（島牧初漁）

～23mm以上) にはあと少しの状態でした。今週末には適正サイズを超える見込みです。また、今回の漁獲物の中には、体長10mm台前半の群(点線の丸)がみえています。これは4月中旬頃に発生したとみられる4個目のふ化群で、今後の水温上昇傾向にもよりますが、5月中旬頃に適正サイズに達する見込みです。これら各ふ化群の豊度は、今後の漁獲量や終漁時期にも大きく影響すると考えられますが、現時点では詳しい状況は不明です。今後の漁獲物組成の推移を注視していきたいと思っておりますので、引き続きご協力よろしくお願ひします。